

株式会社エンプラス

(証券コード:6961)



よりよき明日を目指して

2023年3月期(第62期) 報告書  
2022年4月1日から2023年3月31日まで

**enplas**



# enplas

株式会社エンプラス

## Contents

01. 企業理念

02. 株主の皆様へ

04. 連結業績の推移

05. 事業別概況

06. エンプラスのESG

07. エンプラスの企業理念

09. 会社概要/株式情報/株主メモ

10. グローバルネットワーク 国内ネットワーク

巻末. グローバルネットワーク 海外ネットワーク

## 企業理念



### 使命

独創的アイデアを総合技術で価値ある製品に変え、より良い未来を支えます

### 経営姿勢

強靱な経営基盤をもとに、創造と挑戦を繰り返し、自ら変革し続けます

### 行動指針

信頼こそ全ての基本

- ・謙虚な姿勢と感謝の心を大切にします
- ・公明正大に行動します
- ・新たな価値の創造に挑戦します

# 株主の皆様へ

私たちはソリューションプロバイダーとして、より良い未来の実現に向け、さまざまな企業活動に取り組んでおります。



代表取締役社長 横田大輔

## Q 第62期の経営実績、第63期の見通しについてお話しください。

当連結会計年度の売上高は42,240百万円(前期比28.4%増)となり、営業利益は8,820百万円(前期比145.0%増)、経常利益は8,785百万円(前期比154.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は4,621百万円(前期比82.8%増)となりました。

各セグメントの業績につきましては5ページに掲載しております。

世界経済は、資源やエネルギー価格の高騰、景気後退局面入りの懸念、金融不安の広がりなど、先行き不透明な状況が続いております。

そのような状況の中、当社では「競争力強化による成長の実現」を第63期の経営基本方針として掲げております。新しいものを生み出す開発投資、既存事業をさらに伸ばす

成長投資、それを成し遂げる人への投資を行うことで、競争力を強化し、成長の実現につなげてまいります。

## Q 企業理念の改定についてお話しください。

当社は、お客様にとっての価値の向上につながるソリューションを提供することで、持続可能な社会に貢献すべく、日々の事業活動に取り組んでおります。不連続な変化が続く時代において、変化に即応し、持続的な成長を実現していくためには、経営陣及び従業員の一人一人が、会社が目指す方向性と会社が大切にしている価値観を深く理解し、素早く行動に移せることがより重要になると考えています。それらを確実なものにするため、当社が目指すべき方向を明示するとともに、当社が大切にしてきた価値観を再認識し、より断定的な表現となるよう、2023年4月1日付で企業理念を

# 株主の皆様へ

改定いたしました。詳細は7~8ページに記載しておりますので、ご覧頂けると幸いです。

## Q 中長期の考え方についてお話しください。

当社経営の生命線は「新規性の追求」にあると考えており、お客様や関係する機関とこれまでに築き上げてきた信頼関係のもと、継続的に研究開発を行い、次の事業の種を蒔いております。

事業ポートフォリオにつきましては、当社は今後、よりEssentialな領域に注力してまいります。Essential領域とは、人と地球のQOL(クオリティ・オブ・ライフ)を高める領域であり、具体的には環境負荷を減らし、人々の健康で安心安全かつ快適な生活を支える領域と定義しております。

Semiconductor事業とLife Science事業は事業自体がEssentialな領域であり、マーケット自体も成長領域です。Digital Communication事業とEnergy Saving Solution事業は、捻出した利益をEssential領域に振り向けるとともに、Essentialな領域へと業態転換を進めてまいります。

## Q 株主還元についてお願いします。

当社は、健全・堅実な経営により強固な財務体質を堅持するとともに、経営活動の成果を明確な形で株主の皆様へ還元することを基本方針としております。

上記の基本方針と当期の業績等を総合的に勘案し、中間配当については1株当たり30円、期末配当については1株当たり30円とし、年間60円といたします。

## Q 株主の皆様一言お願いします。

当社は、創業以来、素材開発、プロセスエンジニアリング開発、評価技術開発を推進し、それまで不可能と考えられていたものを製品化、量産化することで、世界中のお客様と共に、豊かな社会の発展に貢献してまいりました。

金属ギアの代替から始まった当社の事業も、今では、半導体、ライフサイエンス、モビリティ、高速光通信などの幅広い分野に展開し、これまでに培った技術基盤をもとに、お客様の価値向上につながるソリューションを提供しております。

現在、環境問題や、高齢化社会、より高度化する情報社会など、持続可能な未来へ向けた課題が浮き彫りになっています。当社は、人と地球のQOLを高めるEssentialな事業分野において、これらの社会課題を解決し、持続可能な社会に貢献できるソリューション技術の展開、開発を進めてまいります。

不連続な変化が当たり前におこる現在の世の中においても、変化に即応できるスピード感を持ち、当社の技術力をさらに磨きながら、幅広い産業の未来課題の解決に挑戦してまいります。

今後とも、株主の皆様にはより一層のご支援とご鞭撻を賜ります様、よろしくお願い申し上げます。

# 連結業績の推移

## ■連結売上高

1



## ■連結経常利益

2



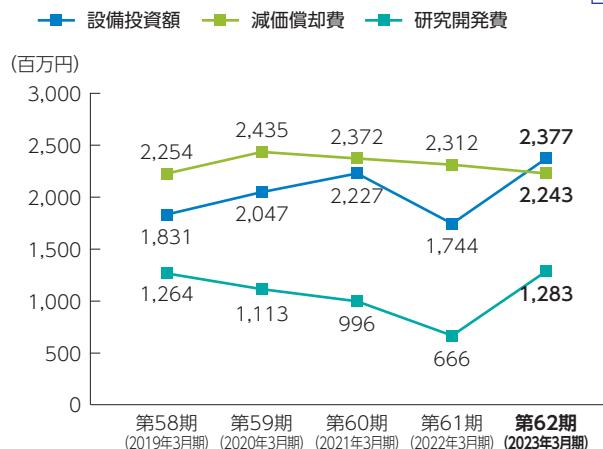
## ■親会社株主に帰属する連結当期純利益

3



## ■設備投資額／減価償却費／研究開発費

4



## 株主還元について

**1株当たり  
配当金60.00円**

当社では、経営活動の成果を明確な形で株主の皆様へ還元することを基本方針とし、また、安定配当の考え方も取り入れ、今期以降の業績等を総合的に勘案し、中間配当を含む年間配当を60.00円とさせていただきます。

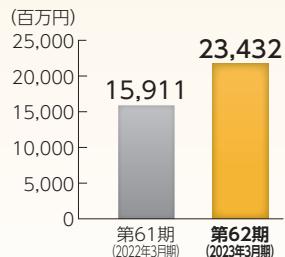
## ■配当金 (円)



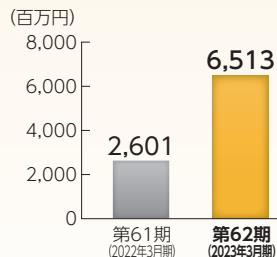
# 事業別概況

## Semiconductor事業

### ■ 売上高



### ■ 営業利益



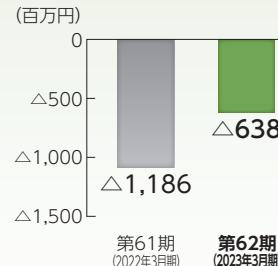
各種ICテスト用ソケット、バーンインソケットは、サーバー、自動車、モバイルの各用途の需要が高水準を維持し、円安の恩恵も相まって、売上高は過去最高となりました。

## Life Science事業

### ■ 売上高



### ■ 営業利益



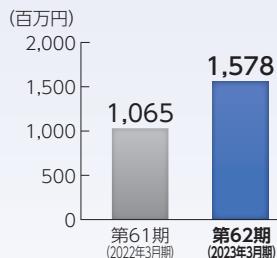
遺伝子検査用製品は、既存顧客からの受注が好調に推移し、売上高は過去最高となりました。なお、当該Life Science事業には、新規分野への先行投資や新事業開発が含まれております。

## Digital Communication事業

### ■ 売上高



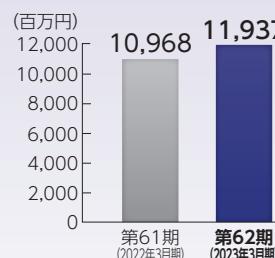
### ■ 営業利益



光通信関連の光学デバイスは、世界的な半導体不足による顧客の生産調整の影響が改善し、売上高は好調に推移しました。LED用拡散レンズは、液晶テレビ市場の需要減少が継続し、売上高は低調に推移しました。

## Energy Saving Solution事業

### ■ 売上高



### ■ 営業利益



自動車用部品とプリンター用部品は、自動車の緩やかな生産回復とプリンター需要の回復により売上高は堅調に推移しました。

# エンプラスのESG

## Environment (環境)

### 環境方針

エンプラスは、エンジニアリングプラスチック及びその複合材による、高精度・高機能プラスチック精密機構部品・製品の開発、製造、販売に関わるあらゆる面で、地球環境の保全を企業の果たすべき重要な課題として捉え、その保護活動に積極的に取り組みます。

1. 環境目標を設定し、それを達成するために全社的な環境管理システムを構築し、継続的な改善向上を図ります。
2. 業務の合理化や改善等を通し、環境負荷の低減・省エネルギー（電力使用量等削減／CO<sub>2</sub>削減）を推進します。
3. 廃プラスチックの削減と再資源化を推進します。
4. サプライヤーとの協働により調達品の環境負荷低減に努めます。
5. 環境規制や環境協定等を順守します。
6. 企業活動から汚染を排出しないようその予防に努めます。
7. 社会の一員として、地域の環境保護や維持に貢献します。

### 〈適用範囲〉

組織の単位・物理的境界	区分	適用範囲
工 株 式 会 社 エ ン プ ラ ス	グローバル本社	自己宣言
	本社	自己宣言
	鹿沼工場	審査登録
国 内 グ ル ー プ 会 社	株式会社エンプラス 研究所	自己宣言
	株式会社エンプラス 半導体機器	自己宣言
	QMS株式会社	自己宣言

## Social (社会)

### エンプラス品質方針

お客様に感謝されるより良い品質の製品とサービスを提供します。

1. エンジニアリングプラスチックを基盤とした総合技術による確かな品質で、世界市場のニーズに応え、社会の発展に貢献します。
2. 法令、規制、お客様の要求事項を遵守し、お客様から信頼を得られるよう行動します。
3. 品質マネジメントシステムの継続的な改善により、あらゆる変化に対応できる品質基盤を堅持します。

2020年6月10日改定

## Governance (ガバナンス)

### コーポレート・ガバナンスの基本的な考え方

当社の経営方針・企業精神・企業倫理を具現化したものが企業理念であり、社会の発展に寄与すべき企業使命を明確にするとともに当社のコーポレート・ガバナンスの基本原則となっております。その企業理念に基づき、持続的な企業価値の向上を実現する為に、「エンプラス コーポレート・ガバナンス ポリシー」を制定し、コーポレート・ガバナンスの継続的な充実に取り組んでおります。

# エンプラスの企業理念



100年先もお客様に感謝される製品を提供し、  
持続的な企業価値の向上を実現してまいります。

代表取締役社長 横田大輔

## 使命についてお話しください

独創性があるモノづくりと新製品により、お客様に喜んでいただくことが当社の使命です。より複合的な技術を取り込むことで、価値ある製品を創出し、より良い未来を支えてまいります。

## 経営姿勢についてお話しください

上市3年以内製品の売上比率は50%を超えており、新規性が当社の重要な文化となっております。当社が将来存続していくためには、あらゆる分野において、その時代で必要とされるものを提供し続けなければなりません。強靱な経営基盤を強みとした上で、成長領域への投資や研究開発投資を行い、新規性を追求してまいります。

## 行動指針についてお話しください

行動指針では、エンプラスの社員として大切にすべき精神、価値観を示しています。全ての企業活動は信頼のもとに成り立ちます。当社はさまざまなステークホルダーの皆様からの信頼を大切に、新たな価値の創造に挑戦してまいります。



## 制作背景

上記、企業理念の改定にあたり、部門横断でのプロジェクトを発足し、1年がかりで検討を行いました。金属ギアの代替から始まったエンブラスの事業も、今では、半導体、ライフサイエンス、モビリティ、高速光通信などの幅広い分野に展開しております。60周年を機に改めて私たちが目指すべき姿を考え、過去の歴史を振り返って、私たちがこれから変えていくべきものと、変えてはいけないものを整理した上で、私たちが大切にすべき価値観を見直しました。

企業理念の3つの要素のうち、最も重要で、全ての基本となるのが「信頼を追求すること」です。会社が存続していくためには、お客様や株主の皆様、社会からの信頼が欠かせません。会社の活動の根底にあるのは、私たち一人一人の活動であり、私たち全社員が、謙虚な姿勢で感謝の気持ちをもって周囲の人と接し、公明正大に行動し、創造と挑戦を繰り返すことの積み重ねが、会社としての信頼につながると考えております。

# 会社概要 / 株式情報 / 株主メモ

(2023年3月31日現在)

## 会社概要

商号 株式会社エンプラス  
所在地 埼玉県川口市並木2丁目30番1号  
設立 1962年2月21日  
資本金 80億8,045万円  
従業員数 1,527名(連結)

(2023年6月23日現在)

## 取締役

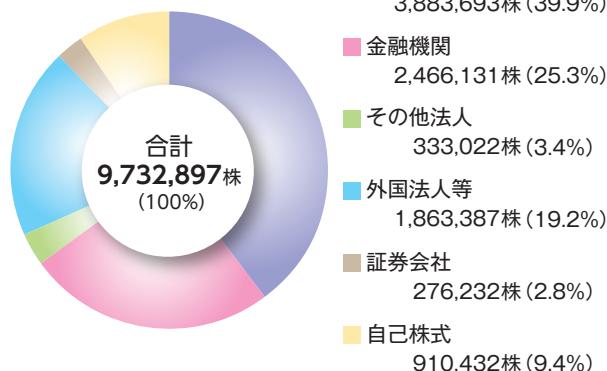
代表取締役社長	横田 大輔
取締役兼常務経営執行役員	宮坂 章司
取締役兼経営執行役員	藤田 慈也
社外取締役(監査等委員)	井植 敏雅
社外取締役(監査等委員)	久田 眞佐男
社外取締役(監査等委員)	天羽 稔
取締役(監査等委員)	當間 和幸

(2023年3月31日現在)

## 株式情報

発行可能株式総数	62,400,000株
発行済株式総数	9,732,897株
株主数	3,344名

### 所有者別株式分布状況



## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
郵便物送付先、連絡先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 (お問い合わせ) ☎0120-288-324
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日
公告方法	電子公告 ( <a href="https://www.enplas.co.jp/">https://www.enplas.co.jp/</a> ) ただし、電子公告によることができないときは、日本経済新聞に掲載する方法とします。 貸借対照表、損益計算書は、決算公告に代えてEDINET ( <a href="https://disclosure.edinet-fsa.go.jp/">https://disclosure.edinet-fsa.go.jp/</a> )にて開示しております。
上場金融商品取引所	東京証券取引所

# グローバルネットワーク

## 国内ネットワーク

### グローバル本社

東京都千代田区丸の内1丁目6番2号 新丸の内センタービルディング9F

### 本社

埼玉県川口市並木2丁目30番1号



東京都  
・グローバル本社  
京都共創センター



本社



鹿沼工場



株式会社エンブラス半導体機器



QMS株式会社



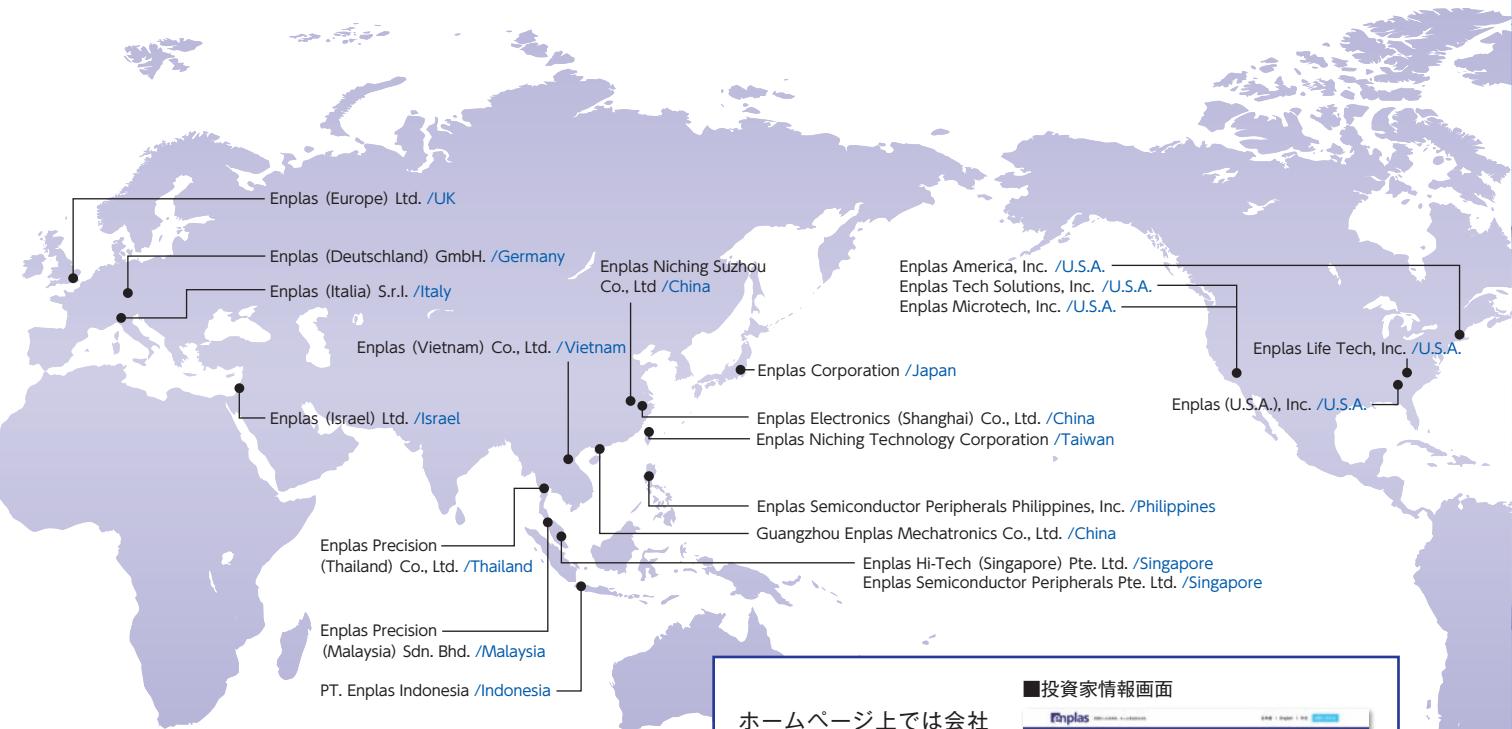
株式会社エンブラス研究所

# グローバルネットワーク

## ■ 海外ネットワーク

### 技術の絆。信頼の絆。活躍の舞台はグローバルです。

アジア、アメリカ、ヨーロッパにある世界拠点を結ぶグローバルネットワークによって24時間稼働し続ける「エンプラス」グループ。こうしたグローバルネットワークを通じて、企画・開発段階から、各産業界のトップメーカーと技術に裏打ちされた信頼のパートナーシップを構築。世界企業としてエンプラスは、さらに大きく羽ばたこうとしています。



## 株式会社エンプラス

〒332-0034 埼玉県川口市並木2丁目30番1号

Tel : 048-253-3131 (代表) Fax : 048-255-1688

<https://www.enplas.co.jp/>

UD FONT

見やすいユニバーサル  
デザインフォントを採用しています。



### ■ 投資家情報画面

ホームページ上では会社概要、財務情報をはじめ業務内容やプレスリリースなど最新の情報を幅広くお知らせしています。ぜひご覧ください。

エンプラス IR

検索

